

2003年度技術科卒業研究発表会 / 修士論文審査会 とそのレジュメ執筆の要領

番号 77777 山本尚登
指導教官 長岡秀子

本文書は2003年度の技術科卒業研究発表会及び修士論文審査会の開催要領及び同レジュメ執筆要領についてまとめたものです。発表者は熟読の上、適切な発表とレジュメの執筆をしてください。なお、本文書がそのままレジュメのひな形になっています。

1. はじめに

本文書は2003年度の技術科卒業研究発表会及び修士論文審査会の開催要領及び同レジュメ執筆要領についてまとめたものです。発表者は熟読の上、適切な発表とレジュメの執筆をしてください。なお、本文書がそのままレジュメのひな形になっています。発表会 / 審査会の開催要領を2に、レジュメ執筆要領を3に示しました。

2. 発表会 / 審査会の開催要領

2.1 発表会 / 審査会の日時と場所

表1のとおり、2003年度の卒業研究発表会は2月28日(土)に、修士論文審査会は2月29日(日)に開催されます。会場は総合研究棟II(生物資源学部の横の建物)の1階にあるメディアホールです。なお、29日の修士論文審査会の後、続けて川口元一先生の最終講義が開催されます。

2.2 発表の順

別紙のとおりです。今年度は研究室別でなく、学籍番号順としました。発表する人も聞くだけの人も関係の研究室の人の発表だけでなく、なるべく多くの発表を聞き、質問し、理解と交流を深めましょう。全部の発表を聞きなさいとは言いませんけれども。

2.3 発表の要領

発表時間は表2のとおりです。発表時間は第2鈴までです。多少短くなっても構いませんがオーバーしないようにして質疑応答が十分できるように下さい。質問を避けようとして第3鈴ぎりぎりまでしゃべるのは良くありません。卒業研究の発表で、指導教官が補足説明することもできません。修士論文の場合は発表の仕方も含めての「審査会」ですので、指導教官が補足説明することは原則出来ません。時間どおりにきちんと説明を終え、その後の質疑応答にも的確に対応したかどうか評価の対象となるからです。

質疑応答を先生任せにせず、どんどん参加し理解を深め合いましょう。例年意地悪な質問をする先生が

表1 発表会 / 審査会の開催要領

日時
卒業研究発表会 2月28日(土) 9:50~16:50
修士論文審査会 2月29日(日) 9:00~10:15
場所
総合研究棟II 1階 メディアホール
* 2月29日(日) 10:25~11:30 には同じ場所で川口元一先生の最終講義も開催されます。

表2 発表時間

	卒業研究	修士論文
第1鈴	7分	10分
第2鈴	10分	15分
第3鈴	15分	20分

* 発表は第2鈴まで。第2鈴から第3鈴は質疑応答時間です。

いると思っておられるかも知れませんが、そういうことではありません。同じ技術科といっても隣の研究室のことは本当にわからないことが多いのです。答え難い質問の場合はあいまいにごまかさず、わからない、ときちんと答えるのも大切で、いいことであると思います。

2.4 発表のための機器

プロジェクタとディスプレイ切り替え器をを準備する予定です。各研究室毎にプレゼンテーションのためのファイルを収めたノートパソコンを準備いただきま

す。朝からすべてのノートパソコンを接続、立ち上げ済みにしておき、発表ごとにプロジェクタへのケーブルをディスプレイ切り替え器で切り替えながら次々と発表をしてゆくようにします。

2.5 発表時の注意

指示棒及びレーザーポインタを準備します。指示棒の場合はスクリーンをこすらないようにして下さい。スクリーンが傷つくのと、スクリーンが揺れて見にくくなるのを防ぐためです。また緊張してか発表中指示棒を何度も伸び縮みさせる人がいます。一人5回でも20人で100回、すぐに壊れてしまいます。伸縮させないで下さい。レーザーポインタの場合は、レーザーを聴衆に向けないようにして下さい。目を痛める恐れがあります。

司会者や計時係も含め聴衆の誰もがスクリーンを見られるように立ち位置に注意して下さい。なるべくスクリーンに貼り付くようにし、かつ聴衆に向かって説明するのがいいと思います。

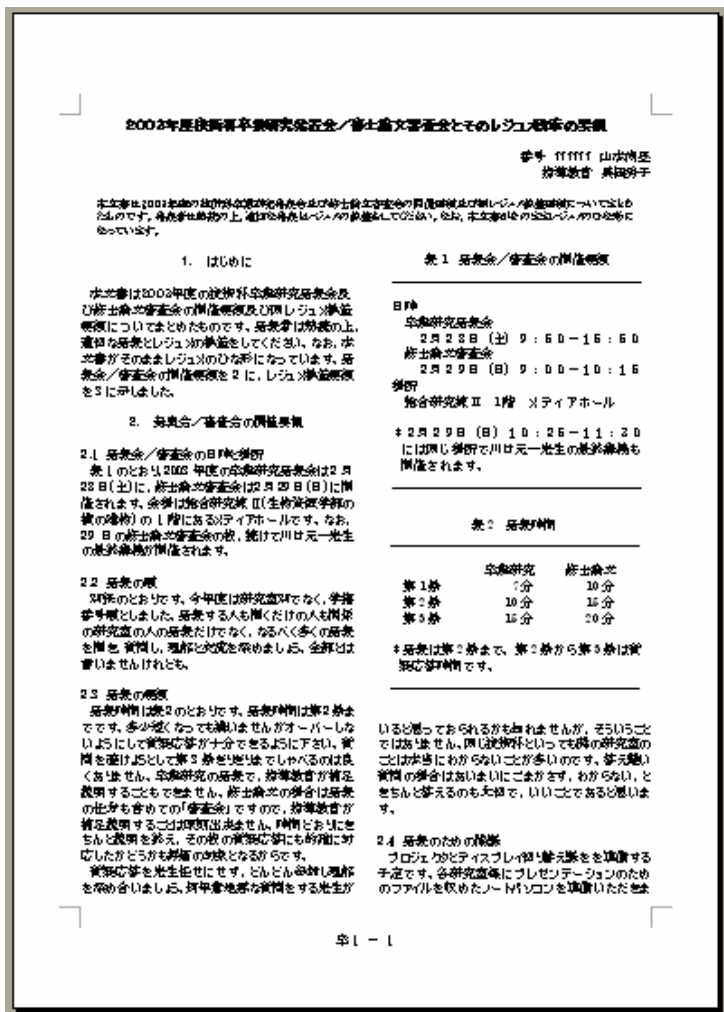


図1 レジュメのイメージ

3. レジュメ執筆要領

3.1 書式

図1、つまりこの文書がそのままひな形になっています。参考にして下さい。細部まで厳格に合わせていただく必要はないですが、

- ・A4 サイズで卒業研究 2 枚, 修士論文 4 枚
- ・上下の余白 30mm
- ・左右の余白 20mm
- ・下部に【発表番号】+【固別の頁番号】を付けるの点は守って下さい。発表番号は別紙のプログラムを参照して下さい。この文書の例では
卒1 - 1, 卒1 - 2
の2頁ですが、発表番号が例えば修3の人の場合は
修3 - 1, 修3 - 2, 修3 - 3, 修3 - 4
の4頁となります。

3.2 原稿の提出

レジュメは冊子の形にして発表会当日の来場者に一部ずつお配りする予定です。と共に、技術科のウェブページでも公開することを考えています。そのために

- ・紙の形の提出 (そのまま印刷可能なもの)
 - ・pdf 形式 (そのままウェブページにアップできるもの)
- の2種類の形態で提出して下さい。

提出の締め切りを2月20日(金)とします。提出は紙の形のもの事務室の松岡の郵便受け、pdf形式のものはmatsuoka@edu.mie-u.ac.jp宛に添付ファイルの形でお送りいただくか、フロッピーなりCDなりに収めて紙の形のものと一緒に松岡の郵便受けに入れておいて下さい。

4. まとめ

以上、卒業研究発表会及び修士論文審査会の開催要領とそのレジュメの執筆要領についての説明をまとめました。

忙しいとは思いますがあともう一息、最後の仕上げ。体調を崩すことなくラストスパートをかけて下さい。健闘、そして立派なレジュメと発表を期待しています。

参考文献

- 1) 日本産業技術教育学会東海支部講演論文原稿執筆要領
- 2) これまでの技術科のレジュメ